

お客様のもともとから
回収する。
お客様にくり返し
使っていただくために。

企業活動を通じた環境保全

回収・リユース&リサイクル

理想科学は、使用済みとなった製品も貴重な資源であると考え、使用済み製品の効率的な回収、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)を積極的に行っています。



■使用済み製品を貴重な資源ととらえる

使用済みとなったデジタル印刷機の回収・再利用に取り組みとともに、消耗品であるインクボトルの回収・再資源化を積極的に進めています。

市場から回収されたデジタル印刷機は「リサイクルセンター」で分解され、再使用部品と消耗部品に分別されます。消耗部品は新品と交換しますが、再使用部品は理想科学の品質保証基準に基づいて検査され、合格したものは清掃・洗浄後、再度製品に使用されます。組み上がった製品は、

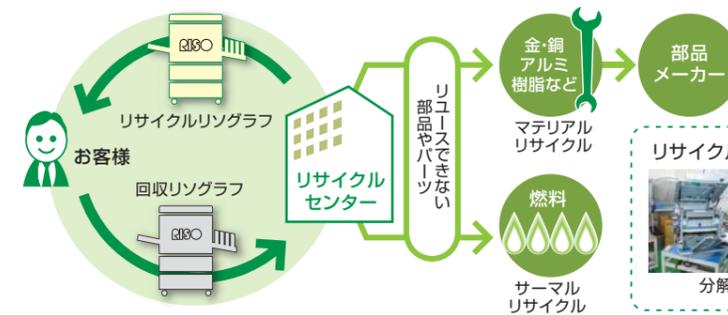
厳密な品質チェックを受けた後、リサイクル機として出荷されます。リユースできない部品・パーツはできるだけ廃棄せず、外部に委託して、マテリアル(原材料)リサイクル、サーマル(燃料)リサイクル向けに再資源化処理を行うことで、廃棄(最終埋設処分)の最小化に努めています。

【データ編 P.32-33】

- グラフ5 使用済み製品と消耗品の回収量
- グラフ6 使用済み製品の再資源化と再資源化率
- グラフ7 産業廃棄物および一般廃棄物の特殊最終処分率



デジタル印刷機のリサイクル・フロー



■海外における使用済み製品の取り組み状況

海外でも現地の法律や社会的要請を踏まえ、使用済み製品の回収、再資源化を進めています。韓国では、国の回収・再資源化のしくみに沿って運用を行っています。

2010年度は、中国においても回収・再資源化に向けた準備を始めました。

Column

インクボトルをリサイクルして販売促進用手さげ袋に

使用済みインクボトルは、消耗品の回収ルートを通じて回収された後、細かいペレット状に加工され、インクボトルの部品の一部として再生します。

2010年は、この使用済みインクボトルの再生樹脂を利用して販売促進用手さげ袋をつくりました。

理想科学の環境保全への取り組み姿勢をアピールするとともに、「廃棄物を減らし、限りある資源・エネルギーを大事に使おう!」というメッセージを伝えるグッズとして、活用しています。